

合格体験記 (AO方式入学者選抜)

第Ⅱ項 学芸 学部 音楽 学科 音楽文化 専攻

出身高校名 比叡山高校

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

幼い頃から音楽が大好きで、同志社女子大学なら、音楽を基礎から学べることはもちろん、様々な科目が半ばあり、演奏や創作、療法、教育など幅広く学べるからです。また、十人十色な考え方がある中で生きていくための力(相手の視野に立って、支え合える力)を身につけられると考えました。また、オープンキャンパスで出会った先輩方のやさしい雰囲気にあこがれ、受験することを決意しました。

(2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

同志社女子大学が第一志望だったことと、一回でも多く入試を受けて合格できる確率を上げるためです。またAO入試ならでは、ある程度自由な自己アピール時間があることも、AO入試の魅力だと思いました。受験生一人一人の得意な分野で、自分が一番輝いていると思う形のものを見ていただけるからです。また、その後の面接で自分の伝えたい考えを詳しく説明できるのもいい点だと思います。

(3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

普段から音楽を演奏したり、聴いたりすると、風景やイメージが湧いてくるので、今回はそれを繋ぎ合わせ、一つの物語を作成しました。物語の朗読をCDに録音し、そのCDを再生している隣りでBGMとして、ハイドンの曲を演奏し、音楽劇を披露しました。

経歴や資格は高校2年生から所属している吹奏楽部で受賞した「金賞きらめき賞」と英検3級および準2級を書きました。

(4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

文字を丁寧に書くことはもちろん、一文が長くなりすぎないことに気をつけました。また文章が読みやすいように回りくどい表現を避け、真直ぐな表現を心がけました。何度も担当の先生に添削していただいて、いかに自分の想いを文字だけで伝えるかに焦点を当て文章を作成しました。そのために伝えたいことをとりあえず書き並べ、担当の先生と話し合いながら少しずつ形にしました。

〔面接〕

服装をしっかり確認し、無表情にならないように自然な笑顔で発言しました。今年は終始マスクの着用だったので、いつもより声を張って、ハキハキと話しました。すると自然と背筋もシャキッと伸びて良かったなあと思いました。また、トラブルが起きてもパニックにならないことです。全く予想していないことを聞かれても正直な気持ちを伝えれば良いし、わからないことがあれば質問すれば教えてもらえます。落ち着いて行動すればいつも通り出来ました。

(5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

自分のやりたいことや考えや気持ちを試験監督者に素直にまっすぐ伝えることが一番大切だと思います。自分の気持ちをまっすぐ伝えるためには、どのような方法で表現すれば良いかを時間をかけて真剣に考える必要があると思います。AO入試は一度です。「やりきた、後悔はない」と言えるような選択をしてください。